FUKUI COMPUTER

データ共有サービス ARCHITREND Drive

ARCHITREND Drive

ATDrive

3Dカタログ.com

【テレワーク 準備編】

2024年10月1日　3Dカタログの有料会員 「Aプラン」・「Bプラン」は「プロフェッショナルプラン」へ変更となりました。本編では、「プロフェッショナルプラン」の契約があるものとして解説を行っています。

■テレワークによるデータ共有イメージ ---------- 2
■事前準備【初期設定】
3Dカタログマスタアプリでの設定確認 ---------- 3
ARCHITREND ZEROでの設定確認 ---------- 4
■フォルダ共有
共有フォルダの作成 ---------- 5
既存データをATDriveにアップロードする方法 ---- 6・7
■補足　ARCHITREND Drive運用についての Q&A ---- 8・9

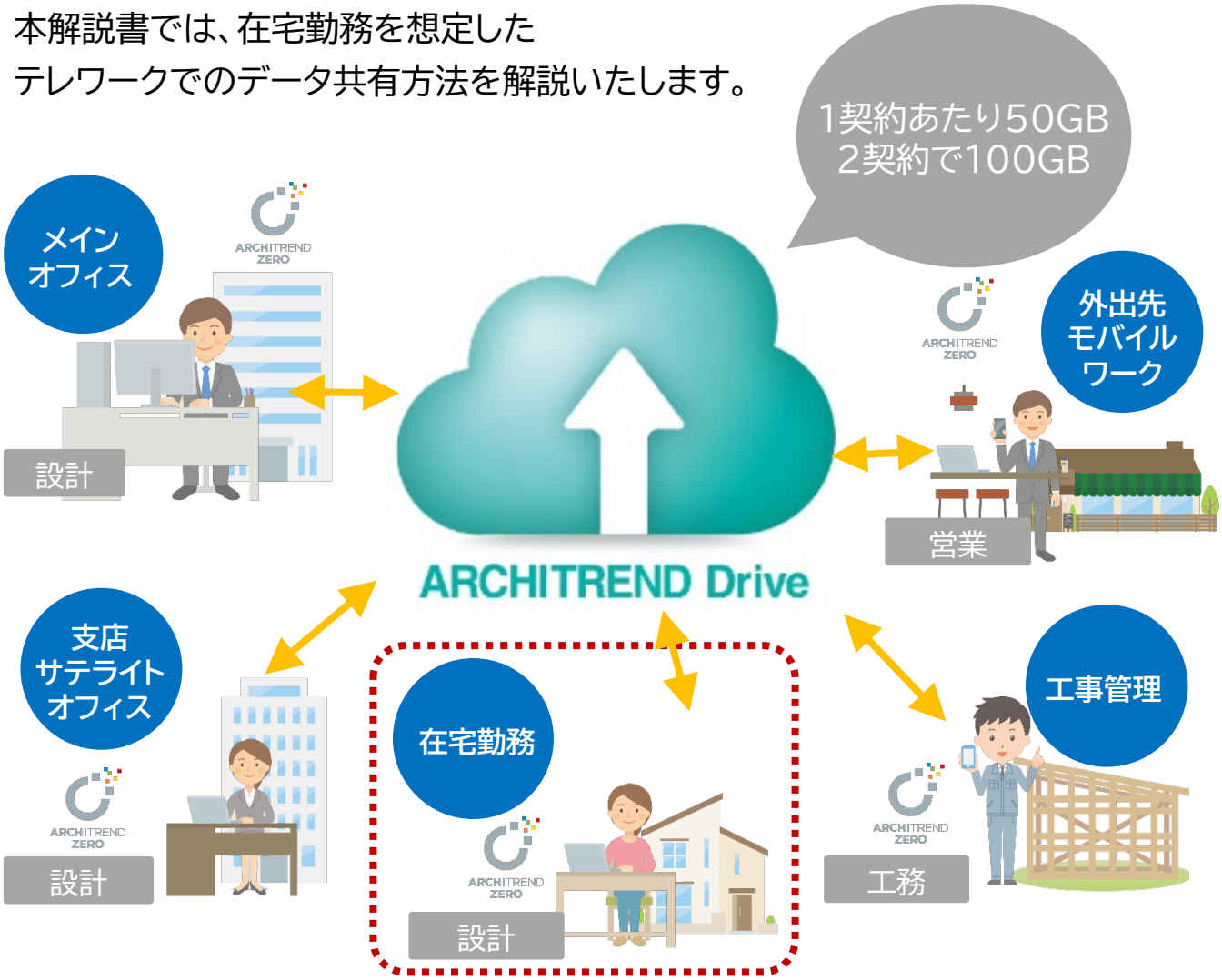
福井コンピュータアーキテクト株式会社

制作：福井コンピュータグループ お客様サポートセンター

テレワークによるデータ共有イメージ

3Dカタログ.com プロフェッショナルプランの契約が2ライセンス以上ある会社で、拠点をまたいだARCHITREND ZEROデータをARCHITREND Drive（以下ATDrive）を利用しクラウド共有する準備について解説します。

本解説書では、在宅勤務を想定した
テレワークでのデータ共有方法を解説いたします。



ARCHITREND Driveの特徴

テレワーク対応

いつでも場所を選ばず
ATDrive上のデータを閲覧編集し業務を行うことが可能。
働き方改革を後押しします。

安心＋低コスト

パソコンの故障や紛失、災害時においてデータ資産を保護し情報漏洩を防ぎます。
高額なデータサーバー機や専門的なIT知識が無くてもご利用可能です。

事前準備

ATDriveを利用し、テレワークでZEROデータをクラウド共有する場合には、3Dカタログ.com プロフェッショナルプランの契約が必要です。
本解説書では、3Dカタログプロフェッショナルプランの契約がある想定で解説しております。

3Dカタログマスタアプリでの設定確認

1.3Dカタログマスタアプリを起動し、「設定」－「3Dカタログ.com設定」を開きます。

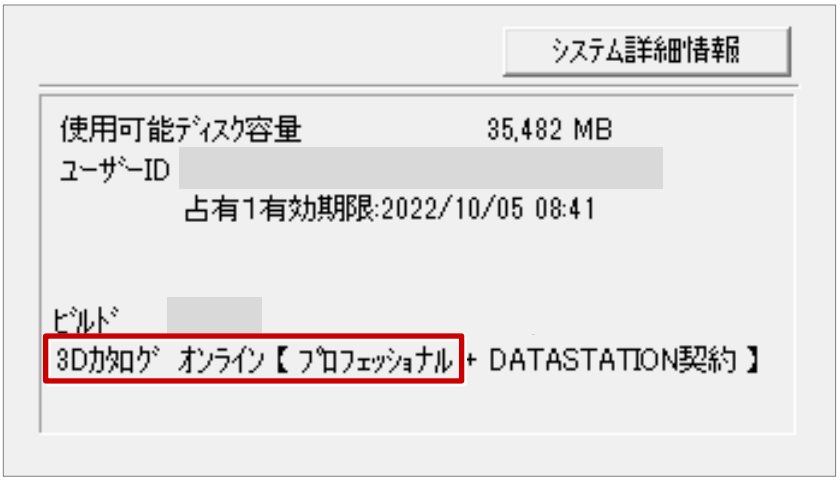
2.「3Dカタログ.comを使用する」チェックがONになっていることを確認し、3Dカタログ プロフェッショナルプランのメールアドレスとパワードを設定します。

テレワークでATDriveを利用する
社員は上記設定を行います。

ARCHITREND ZEROでの設定確認

1. ARCHITREND ZERO を開いて、平面図などの画面から「ヘルプ」－「バージョン情報」の画面を表示します。

2. 3Dカタログ.com プロフェッショナルプランで動作しているか確認します。ARCHITREND ZERO で「ヘルプ」－「バージョン情報」にて、「3Dカタログ オンライン」【プロフェッショナル】と記載されていることを確認します。



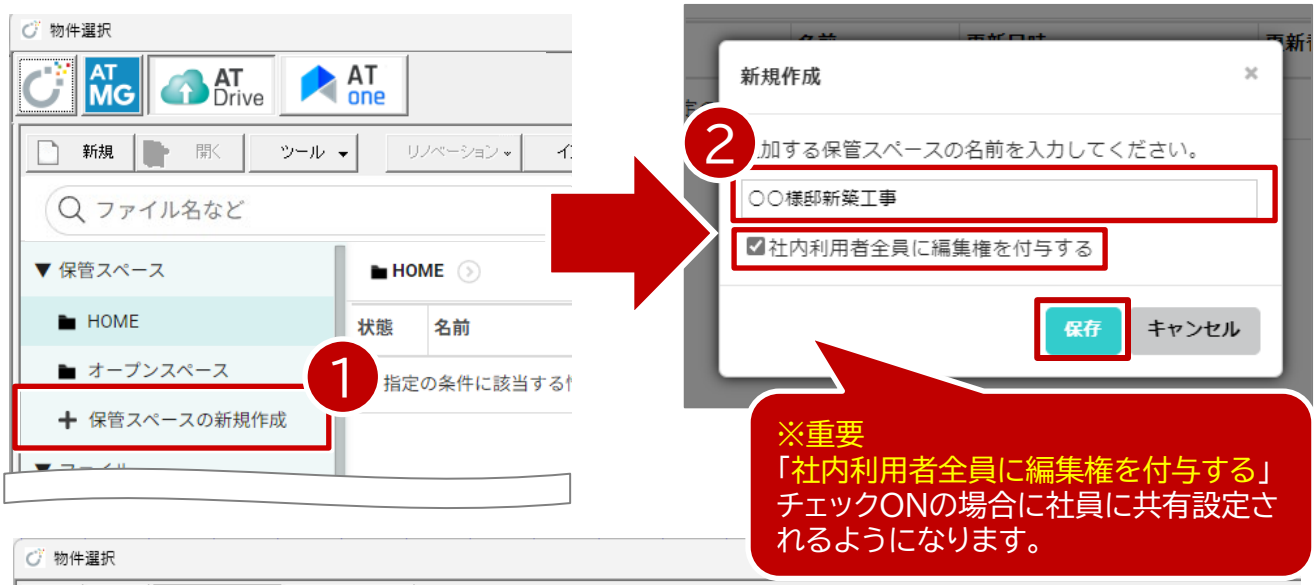
3. ARCHITREND ZERO 起動時の物件選択画面にある、「ATDrive」をクリックして、ATDriveの物件選択画面に切り替えます。

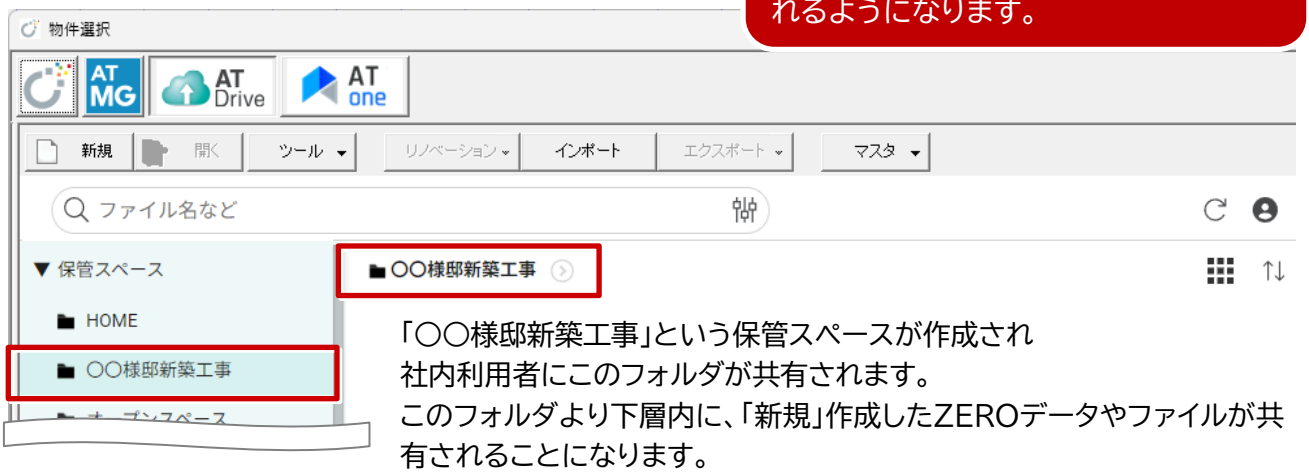
※「HOME」は、ATDriveを設定した社内全員が参照できる保管スペースとなっております。

共有フォルダの作成 （保管スペースおよびフォルダの作成）

1.「保管スペースの新規作成」をクリックします。

2. 社内に共有するフォルダ名（今回は〇〇様邸新築工事）を記入し、「社内利用者全員に編集権を付与する」をONで「保存」します。





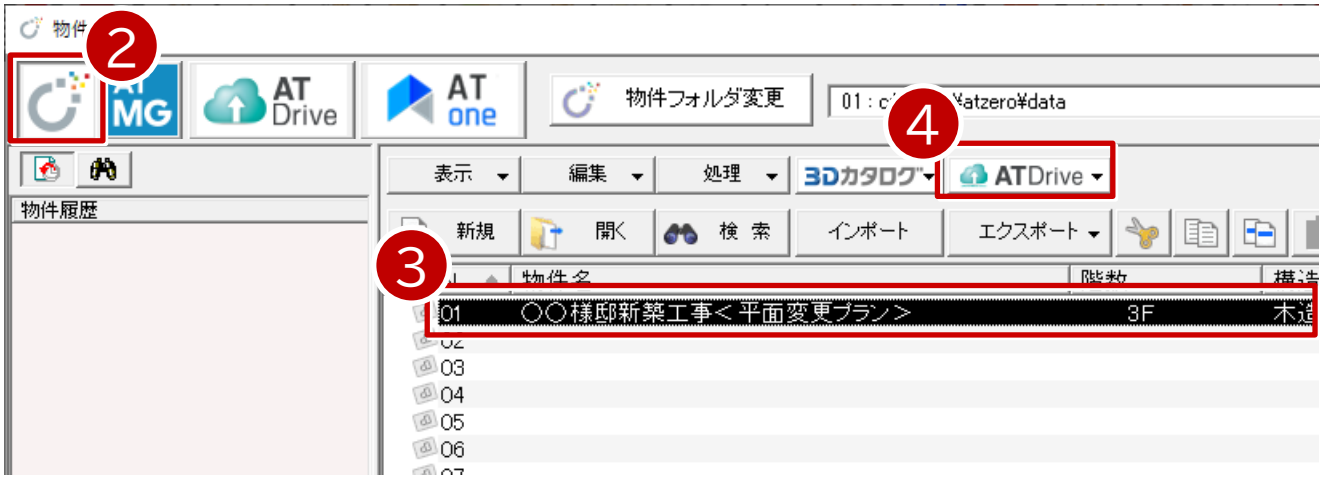
「〇〇様邸新築工事」という保管スペースが作成され
社内利用者にこのフォルダが共有されます。
このフォルダより下層内に、「新規」作成したZEROデータやファイルが共有されることになります。

※共有される利用者について

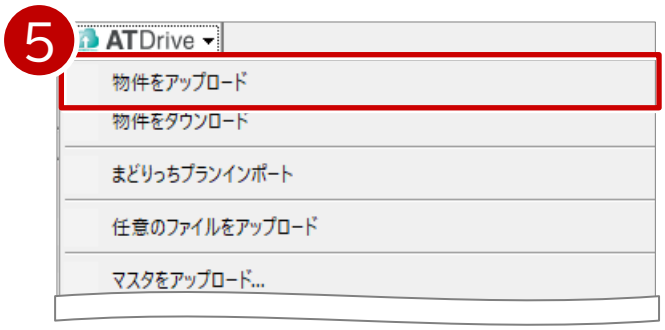
「ツール」－「サイトを開く」からMicrosoft EdgeでATDriveのサイトを開きます。
画面右上にある「ATDrive管理」から「利用者設定」を確認することができます。
この一覧に記載されている社員に、ATDriveのデータが共有されています。

既存データをATDriveにアップロードする方法

1. ARCHITREND ZERO を起動します。
2. 物件選択画面を「ZERO」管理に切り替えます。
3. ATDriveに移行したい物件データを選択します。
4. 「ATDrive」コマンドをクリックします。

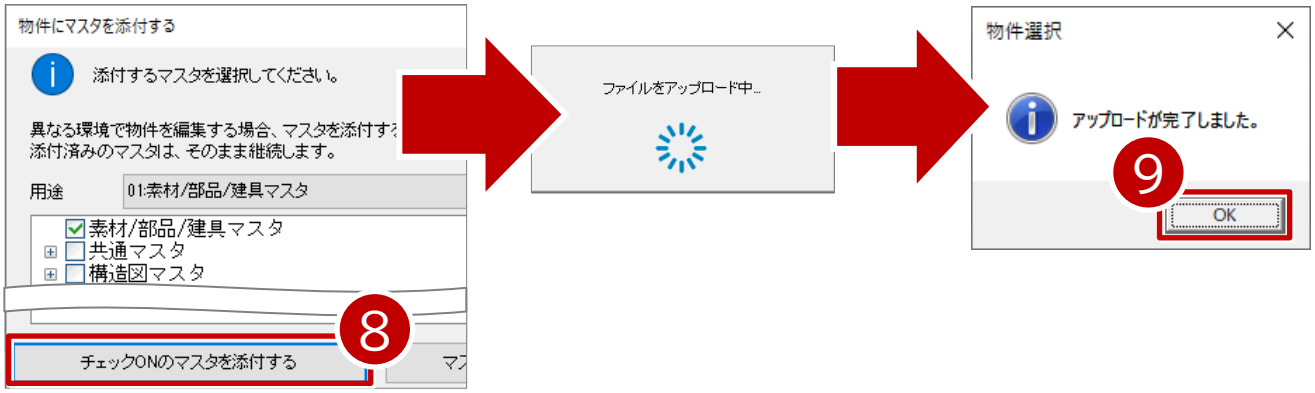


5. 「物件をアップロード」をクリックします。
6. 保存先のフォルダを選択します。
7. 「OK」をクリックします。



既存データをATDriveにアップロードする方法

8.「素材/部品/建具マスタ」をONにし「チェックONのマスタを添付する」をクリックします。
9. アップロードが完了したら「OK」をクリックします。



10. ARCHITREND ZEROの物件選択画面で「ATDrive」をクリックしてデータがアップロードされていることを確認できます。

ATDrive運用についての Q&A

Q. 在宅勤務者Aさんがデータを編集中に、他の在宅勤務者Bさんはデータを編集できますか？
A. 物件データは1人ずつの編集が可能です。Aさんがデータを編集中に、Bさんは開くことができません。ロックされた状態となります。

Q. モバイル回線でもATDriveは利用できますか？
A. モバイル回線でのATDrive運用はお勧めできません。光インターネット回線やケーブルテレビ回線など安定した回線を推奨しています。

	光回線	ケーブル回線	モバイル回線
回線速度の目安	下り270Mbps 上り140Mbps	下り30~70Mbps 上り10~20Mbps	下り20Mbps 上り5Mbps
快適度	快適	普通～やや遅い	遅い
ZEROでのご利用	★★★	★☆☆※1	☆☆☆※1
各種ファイル（画像/PDF等）の閲覧	★★★	★★☆	★☆☆

※1）利用する端末の状況（ストレージやバックグラウンドで起動しているアプリの状態）、また、通信環境や契約されている通信速度の条件などにより、十分な状態で利用できない場合があります。

Q. 管理者と管理者ではない担当者の違いはどのようなものですか？
A. ATDriveでは利用者に「ユーザー権限」「アクセス権限」を定義できるようになっています。違いは下記の通りです。

■ATDrive管理者
社内運用している全ファイル・フォルダの編集権を持ちます。編集、移動、ゴミ箱のクリアができます。保管スペースの作成と権限付与は管理者のみができます。

■一般社内利用者（契約内利用者）
付与された権限に基づき、編集閲覧ができます。編集権のあるファイル・フォルダは社外に共有することができます。

■共有社外利用者（協業先、施主）
一般社内利用者によって共有された権限に基づき、編集閲覧ができます。利用者は3Dカタログ.comの会員登録が必要です。

「ツール」－「サイトを開く」－「ATDrive管理」－「利用者設定」－「権限の変更」ボタンより細かな設定が可能です。

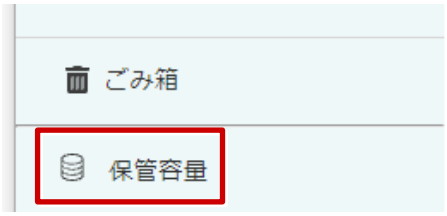
ATDrive運用についての Q&A

Q. ZEROのマスタ付きで共有できますか？
A.「マスタ」－「物件にマスタを添付する」コマンドからマスタ付きで共有することができます。

Q. ZERO以外のExcelやWordファイルをアップロードすることは可能ですか？
A.「ツール」－「サイトを開く」からATDriveのWEBサイトを開いて、画面右上にある「ファイルアップロード」コマンドからATDriveにアップロードできます。
また、ATDriveに直接ファイルをドラッグ＆ドロップでアップロードできます。

Q. 3Dカタログの建材をATDriveで共有できますか？
A. 3Dカタログの建材はATDriveで共有することができません。
リンク切れが発生した場合には、3Dカタログ建材のリンク切れが発生したデータを選択した状態で、「マスタ」－「建材リンク切れチェック」を行うことで、リンク切れの建材をダウンロードすることができます。

Q. 現在どのくらい容量を使っているかわかりますか？
A. 画面左下にある「保管容量」から、現在ご利用の保管容量を確認できます。



Q.「ロック」とは、どのような意味ですか？
A. ATDriveでは、CAD編集中に、他の担当者が同じデータを編集できないように制御しています。その際、「ロック中」と表記されます。
物件を保存して終了することで、「ロック」は解除されます。
停電などパソコンのトラブルでロック中のままになった場合、「ツール」－「物件のロック解除」を行うことで、ロックしていない状態に戻すことが可能です。
※ただし、ロック解除する際には編集中の作業内容は破棄されます。